

[デジポックとやま]

Digi-PoC TOYAMA

ウェルビーイングな世界を切り拓く

2026年度 応募説明会 @ 東京

4月22日

水

時間 : 13:30-16:00

会場 : 渋谷QWS

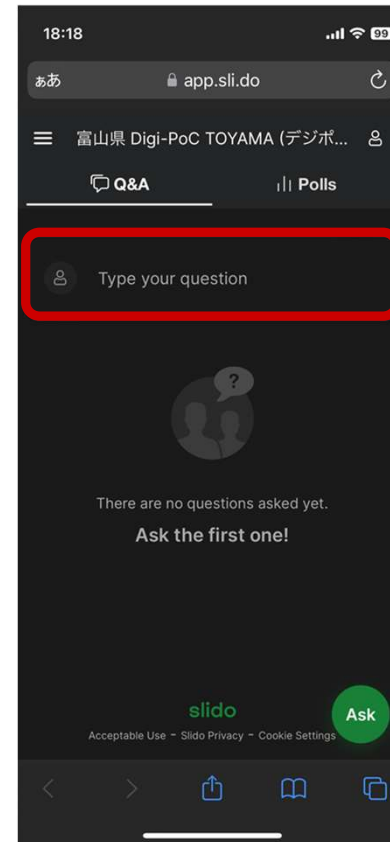
主催 :  **富山県**

運営 :  **ReLic**

CO-INNOVATION COMPANY.

質問受付

本日の説明会では、質問はSlidoで受付します。
QRコードから登録不要で質問可能ですので、ぜひご活用下さい。



質問をご記載下さい。



以降は、右上のQRコードから
質問を常時受付致します。



アジェンダ

本日のアジェンダ
開式のご挨拶
Digi-PoC TOYAMA概要説明
各担当者によるテーマピッチ
Q&A
閉会挨拶
県・市職員とのミートアップ

本日のアジェンダ



- 13:30- 開式
- 13:31- 開式のご挨拶
- 13:35- 「Digi-PoC TOYAMA」 概要説明
- 13:40- 各担当者によるテーマピッチ
- 14:16- Q&A
- 14:30- 中締め
- 15:00- 県・市職員とのミートアップ
- 16:00 終了



アジェンダ

本日のアジェンダ
開式のご挨拶
Digi-PoC TOYAMA概要説明
各担当者によるテーマピッチ
Q&A
閉会挨拶
県・市職員とのミートアップ



地方創生局 局長 塗師木 太一



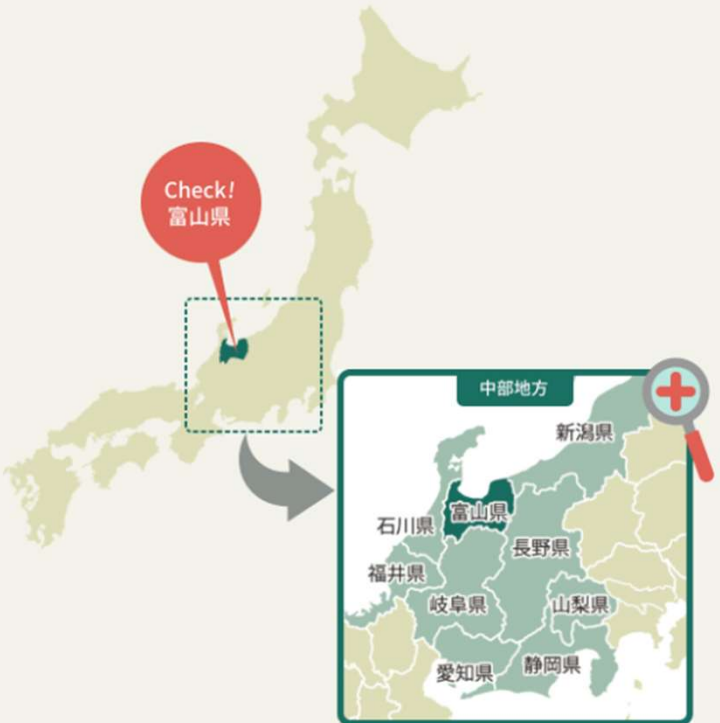
アジェンダ

本日のアジェンダ
開式のご挨拶
Digi-PoC TOYAMA概要説明
各担当者によるテーマピッチ
Q&A
閉会挨拶
県・市職員とのミートアップ

富山県の概況



富山県は10市4町1村で構成される県です。



Check!
富山県

中部地方

新潟県
石川県
富山県
福井県
長野県
岐阜県
山梨県
愛知県
静岡県

富山県の基本データ

県庁所在地 **富山市**


市町村数 **15 (10市4町1村)**

人口 **981,725人** (2026年3月1日現在)

平均気温 **16.1度** (2023年)

面積 **4,247.54km** (2023年9月現在)

富山県章 (県のシンボルマーク)



昭和63年 (1988年) 12月27日制定。富山県のシンボルでもある立山をモチーフに、その中央にとやまのイニシャル「と」を配しています。大空に向かって躍進する富山県をイメージしています。

富山県の概況



三大都市圏からのアクセスも抜群で、東西双方に行き来しやすい立地条件です。

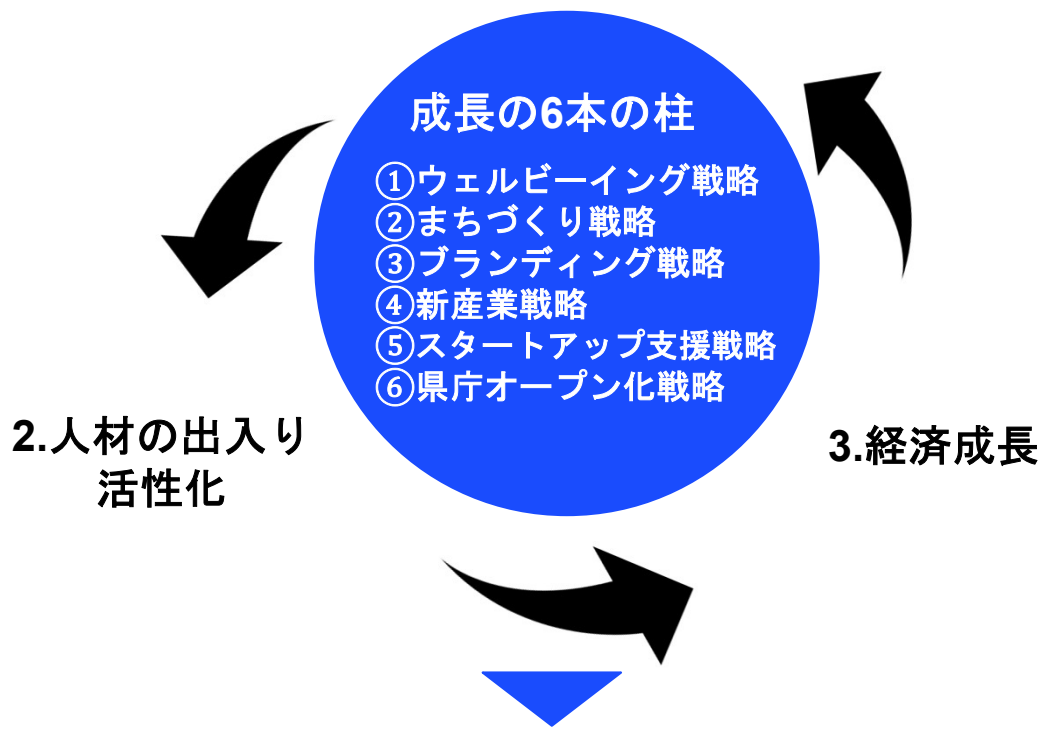


富山県の概況

本県では、人口減少・少子高齢化が進む中、新しい富山県のさらなる発展に向け、令和4年2月に「富山県成長戦略」を策定しました。さらに、昨年12月に「富山県総合計画ー幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～を目指して」を策定し、県民一人ひとりのウェルビーイングの向上に取り組んでいます。



1.ウェルビーイングの向上



「人づくり」と「新しい社会経済システム」の構築

昨年度の状況



今年が5年目の本施策。
富山県が抱える地域課題をデジタルソリューションで解決する事例を創出し、ビジネスモデルの構築につなげることで、
本県における産業・地域社会のDXを推進するために、アップデートした内容をお伝えします。

[デジポックとやま]

Digi-PoC TOYAMA

ウェルビーイングな世界を切り拓く

主催：  富山県

運営：  ReLic
CO-INNOVATION COMPANY.

応募の方向性



今回の募集では、
設定された課題解決に資するソリューションを持つ企業を公募します。

県内外の企業
スタートアップ企業

県内自治体

デジタル
ソリューション

[デジタルポックヒヤマ]
Digi-PoC **TOYAMA**
ウェルビーイングな世界を切り拓く

地域課題
県産魚の魅力向上
多文化共生社会
まちづくり...

マッチング

富山県をフィールドに実証実験
成果の県内への定着・横展開

応募のメリット



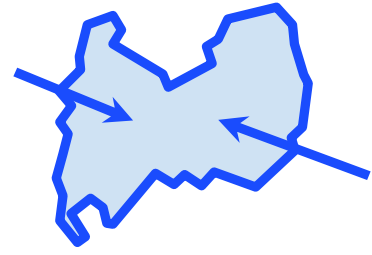
富山県というフィールドを存分に活用して実証実験とその先の実証費用を支援するために最大500万円の実証費用を支援するための仕組みを構築しております。

実証実験にかかる費用を業務委託として経費を上限500万円まで10/10交付！



ビジネスモデルを
具現化

実証実験にかかる費用を業務委託として経費を上限まで10/10交付！
新たなビジネスモデル検討の原資に。



富山との
関係性構築

県内企業等との連携をサポート！
地方進出、拠点づくりの足掛かりに。



自社ビジネスの
認知拡大

実施された実証実験はサイトでの
発信をはじめ、富山県がPR！

応募のメリット



昨年度までの実証内容や成果が気になる方は
特設サイトに全て公開しておりますのでぜひご一読下さい。

2024年度実証実験レポート

イベント情報 Digi-PoC TOYAMA
2024年度 成果報告会
令和6年度「Digi-PoC TOYAMA（デジポックとやま）」実証実験プロジェクト成果報告会開催レポート
2025/03/31
[詳細を見る](#)

実証実験レポート
【レポート】「寿司といえば、富山」のブランディングをDAOの仕組みで推進 (Web3 Times合同会社)
2025/03/14
[詳細を見る](#)

実証実験レポート
富山が深まる！富山が広がる！
ToyamaConnect
富山のイベント・暮らし・ビジネス情報を見つけ、仲間とつながりながら富山ともっとつながる。ローカルSNSが登場！
2025/03/13
【実証実験インタビュー】富山をキーワードに「つながる」「深める」「変え合う」コミュニケーションプラットフォーム「Toyama Connect」で関係人口の創出・深化を図る (株式会社Asian Bridge)
2025/03/13
[詳細を見る](#)

実証実験レポート
Digi-PoC TOYAMA
2023/12/26
【2023年度】「Digi-PoC TOYAMA（デジポックとやま）」実証実験プロジェクト事業者交流会
2023/12/26
[詳細を見る](#)

2023年度実証実験レポート

実証実験レポート
UCS
2023/08/17
【2023年度】特別支援教育における、ロボットを活用したソーシャルスキルトレーニング (三菱総研DCS株式会社)
2023/08/17
[詳細を見る](#)

実証実験レポート
2023/08/15
【2023年度】一日でも早く「あたり前の暮らし」を取り戻すために。「富山県発」衛星データ解析技術で被災箇所の全容把握を目指す (松崎建設株式会社)
2023/08/15
[詳細を見る](#)

実証実験レポート サポートプロジェクト
2022/05/17
【2022年度】【能越ケーブルネット】中山間地域の課題をプラットフォームで解決 地域住民同士の助け合いでウェルビーイングの向上をめざす
2022/05/17
[詳細を見る](#)

実証実験レポート
2022/05/17
【2022年度】【株式会社TRUSTDOCK】「デジタル身分証」が導き出すスマートな世界 サービスを利用する側にも提供する側にもやさしいデジタル社会に向けて
2022/05/17
[詳細を見る](#)

実証実験レポート
2022/05/17
【2022年度】【株式会社IoTRY】中小製造業におけるデジタルツインを用いたデータ活用人材の育成事業
2022/05/17
[詳細を見る](#)

実証実験レポート
2025/02/19
【レポート】数時間単位で「就業」！求職者と職業事業者のマッチングにより就業機会を最大化、長期雇用の足掛かりに。(株式会社Matchbox Technologies)
2025/02/19
[詳細を見る](#)

実証実験レポート
2025/02/05
【現地レポート】「避難所チェックイン×備蓄管理」実証実験が本格始動
2025/02/05
[詳細を見る](#)

実証実験レポート
2024/11/27
「Digi-PoC TOYAMA（デジポックとやま）」Program01の中間報告会を開催いたしました！
2024/11/27
[詳細を見る](#)

実証実験レポート
2023/08/15
【2023年度】富山県のものづくり企業3社の共通課題の解決に向けて、行動分析などのDXソリューションを導入 (富士通Japan株式会社)
2023/08/15
[詳細を見る](#)

実証実験レポート
2023/08/14
【2023年度】駐車場の空き情報をAIカメラでセンシング。センサIoTで、人の不安を解消 (株式会社センサーズ・アンド・ワークス)
2023/08/14
[詳細を見る](#)

実証実験レポート
2023/08/14
【2023年度】DXの力で地方企業の経営の可視化と改善を目指す「DX経営」の伴走支援 (株式会社フォーバル)
2023/08/14
[詳細を見る](#)

実証実験レポート
2022/05/17
【2022年度】【株式会社キッチハイク】好きなときに、好きなところに住める人生を。今回の実証実験は、そのファーストステップ
2022/05/17
[詳細を見る](#)

実証実験レポート
2022/05/17
【2022年度】【株式会社IKETEL】「ITの力」×「人の力」で地域を越えた事業連携を支援 社会課題を解決に導くビジネスのカタチ
2022/05/17
[詳細を見る](#)

実証実験レポート
2022/05/17
【2022年度】【NTTコミュニケーションズ株式会社】ベビーテックで子育てを支援 画一的なものから、選択肢を増やした先に広がる世界
2022/05/17
[詳細を見る](#)

テーマ一覧



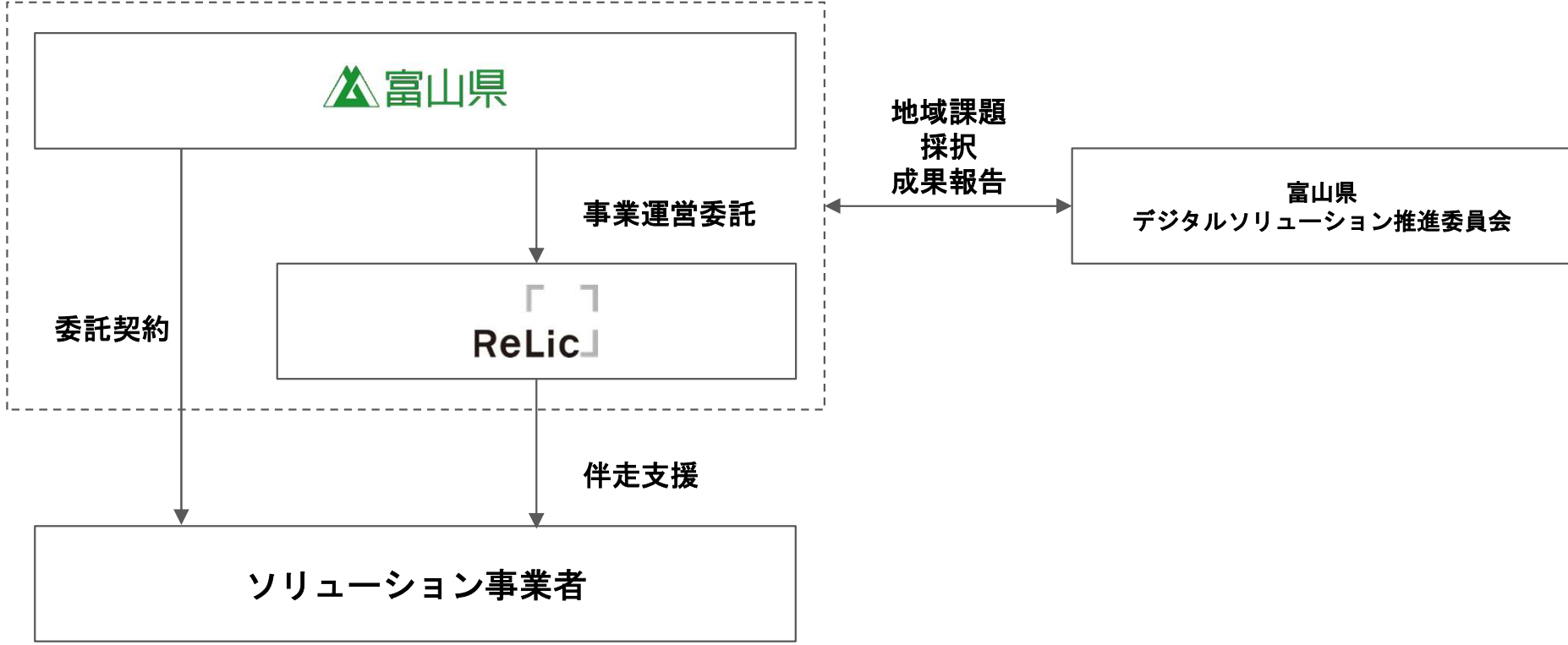
富山県および市町村の抱える課題を厳選して設定しております。
一緒に解決に向かって取り組んで参りましょう。

テーマ名	解決したい課題
1 デジタル技術を活用した地域資源（スキル・ニーズ）の可視化と多様な主体による共助型まちづくりエコシステムの構築 【地方創生局ワンチームとやま推進室】	<ul style="list-style-type: none">・まちづくりや地域活動に関心を持つ潜在層のスキルと各地域のニーズ（お困りごと）の可視化・まちづくりや地域活動への参加ハードル低減・地域活動の好事例の横展開
2 デジタル技術の活用による多文化共生社会の推進 【富山県警察_運転免許センター】	<ul style="list-style-type: none">・言語の壁を解消する多言語対応ソリューション・外国人住民等に対する行政サービスの質と利便性の向上
3 平時の見守りから災害時の避難支援までつながる情報共有 【高岡市社会保険部】	<ul style="list-style-type: none">・富山県の市町村の避難計画作成・計画を継続的に更新し、多主体で安全に共有・多主体での活用のための、スモールスタートの運営
4 多様な人材の活躍推進（県内企業における障害者の活躍推進） 【商工労働部_多様な人材活躍推進室】	<ul style="list-style-type: none">・障害者の職業準備及びデジタルスキル等の向上・県内企業における受け入れ体制の整備・マッチング、職場定着支援を一体的に推進する仕組み
5 県産材利用促進に向けた需給調整業務の効率化 【農林水産部_森林政策課】	<ul style="list-style-type: none">・県産材の供給・加工・利用の可視化・県産材の手配・納品に関する調整業務の負担軽減
6 富山県産魚の品質可視化およびサプライチェーンの情報連携を通じた付加価値向上 【農林水産部_水産漁港課】	<ul style="list-style-type: none">・県産品の付加価値向上と適正な価格形成に向けた仕組みづくり・IoTセンサー（温度ロガー等）やAI画像認識などのデジタル技術の活用

推進体制



運営受託事業者である ReLic がソリューション事業者を伴走支援する体制を構築しております。
伴走支援では関係者とのマッチングや実証実験の調整支援および、事業開発に対するメンタリングを想定しております。



支援体制



Relicは5,000社の支援、40社の投資、27社の創業実績がある会社です。

事業ハンズオン実績

事業プロデュース

プロフェッショナルサービス
新規事業の課題に一気に通貫で伴走し、
解決/支援するトータルソリューション。

インキュベーションテック

ITスタートアップ/SaaS
新規事業が生まれる仕組みや技術を実装する新規事業支援に特化したSaaS型プラットフォーム。

オープンイノベーション

VC/CVC/アクセラレーター
Relicが投資や協業を通じて当事者となり事業を共創するオープンイノベーション。

VCとしての投資活動

Spready seesaw 80&Co. Re-Build
SUNDRED TailorWorks On:chip P2GM ProfinanSS
StartupTechnology coordinatate SalesMarker
Foodies Prime Langualess Indi IDO H
otta® famione Siijibo PrivTech
TIMELEAP native. 366 AX AX ROBOTIX baton
ecbo IMPACT CIRCLE grounds
Hash Dash sketchbook firstcard 株式会社ウエイビー
Linkklusion wanget ファミリーテック W3 Fortune

HDとしての事業創出活動

ReLiC HOLDINGS

中核事業会社	新規事業開発	80&Co.
戦略子会社	クラウドファンディング	Re-Build
戦略子会社	グローバルスケールアップ	tenkai
戦略子会社	事業再启动	CWI
スタートアップスタジオ	データエンジニアリング	STRONG
スタートアップスタジオ	フードテック	RESPECT JAPAN
スタートアップスタジオ	フィンテック	
スタートアップスタジオ	AIエージェント開発	
スタートアップスタジオ	宇宙ビジネス支援 / 機器開発	
戦略子会社	HRテック	
スタートアップスタジオ	音楽/アート/テクノロジー	
スタートアップスタジオ	ペットテック	
ジョイントベンチャー	C2Cマーケットプレイス	
カープアウトベンチャー	次世代ミラー型ディスプレイ	
スタートアップスタジオ	広告型ウェアラブル	
戦略子会社	AIプロダクトファクトリー	
ジョイントベンチャー	AI研修/事業開発/技術支援	
ジョイントベンチャー	観光/インバウンド	
スタートアップスタジオ	マイクロ寄付 PF	

+ 新たに複数社がグループ企業として設立予定。

5,000社以上の支援

40社への出資

HD傘下に**27**社の創業・経営

応募フロー



3つの構成要素から応募資料を作成ください。

応募フォーム

実証実験イメージ図

実証に関わる3カ年の事業計画

イメージ

応募フォーム

1 基本情報 2 提案内容 3 添付ファイル 4 確認・提出

基本情報 ダウンロード

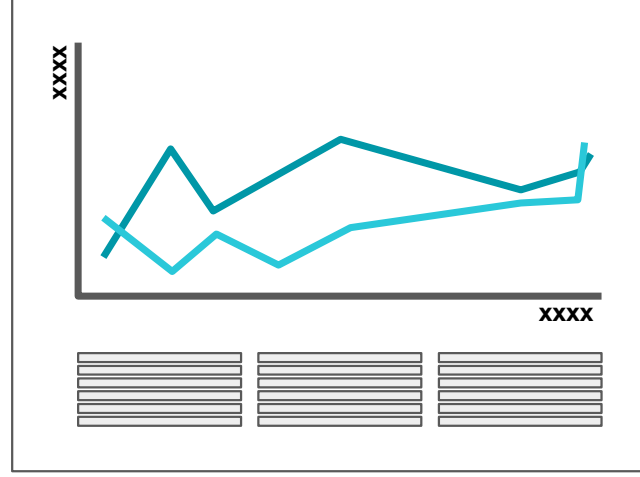
応募プログラム
富山県DXオープンイノベーション2026

プロジェクト名称*
例: AI活用型スマートシティ基盤の開発

チーム/代表者
例: 鈴木花子 (代表), 田中一郎 (CTO)

想定予算規模
例: 500万円

キャンセル 次へ



ポイント

17項目+右記2項目の資料にて評価
テキストで言語化されていることに期待

フリーフォーマットで記載可能
検証ポイントの明確化に期待

フリーフォーマットで記載可能
ランニングコストを記載すること
社会実装を想像できるような計画に期待

応募フロー



締切までは約1ヶ月です。ぜひ、奮ってご応募ください。

- 4月6日(月) 13:00 • スケジュール公開
- 4月15日(水) 13:00 • 公募開始
- 4月17日(金) 13:30 - 16:00 • 応募説明会@富山県庁 [参加申込はコチラ](#)
- 4月22日(水) 13:30 - 16:00 • 応募説明会@東京 渋谷QWS [参加申込はコチラ](#)
- 5月18日(月) 9:00 • 締切
- 5月下旬 • 書類審査&ピッチ審査

- 7月上旬 • 契約締結後、実証開始
- 10月頃 • 中間発表会
- 2027年2月頃 • 最終報告会@富山県庁

応募

ぜひ、奮ってご応募ください。





アジェンダ

本日のアジェンダ
開式のご挨拶
Digi-PoC TOYAMA概要説明
各担当者によるテーマピッチ
Q&A
閉会挨拶
県・市職員とのミートアップ

地域の「できる」と「困った」をつなぐ 共助型まちづくりエコシステムの構築

～地域資源の可視化×マッチング×ナレッジ共有で担い手不足を乗り越える～

富山県地方創生局
ワンチームとやま推進室地域振興課



現状認識

人口減少による地域の担い手不足は深刻。

だが、参加意欲は存在している!

地域住民が主体となり、地域活性化を目指して持続的に活動することで、まちに新たな魅力と活力が生まれています。

10年後のまちづくりの担い手を増やすため、若い世代や女性などの関心を高め、5年後には半数の方が、地域行事・イベント等、地域の活性化につながる活動に積極的に関わりたいと思っていることを目指します。

**一定数意欲ある層は
既に地域にいるが・・・**



**参加意欲を行動に変える
導線の不足?**



<富山県総合計画の抜粋>

課題①

リソースとニーズの不可視化

「誰が何をできるか」「どこで何に困っているか」が見えず、助け合いの接点が生まれにくい。

見えていない状態



できる



困った



課題②

ノウハウの孤立と非効率

成功事例が地域内で閉じ、他地域で再現されない。結果として、同じ試行錯誤が何度も繰り返される。



地域A

知見が閉じる



地域B

またゼロから

課題③

参加ハードルの高さ

若手や現役世代にとって入口が見えず、「負担が重そう」「時間がない」などが参加障壁になっている。



入口不明



重そう



時間がない

デジポックで解決したいこと



① アセットの可視化と マッチング

プレイヤーのスキル、資源、課題を一元化。地域や組織を越えて検索・接続し、「できる」と「困った」を出会わせる。

可視化 → 接続



② タスクの小口化で 参加促進

活動を「クエスト化」し、チラシデザイン、受付、SNS発信補助などへ分解。小さく参加できる設計で潜在層を動かす。

重い活動 → 軽い参加



③ ナレッジ・ハブで 横展開

活動プロセスや成功事例を蓄積・公開。他プレイヤーが参照し、模倣し、連携できることで、再現性ある共助を育てる。

蓄積 → 再利用

3機能が一体のプラットフォームを構築

循環する仕組み（エコシステム）の実現



可視化



小さな参加



知見共有



共助が循環

これまでの取組み

- 地域課題解決に挑戦するまちづくりプロジェクトを応援する

「まちづくりコンテスト」を開催

R7：応募32プロジェクト⇒4プロジェクトを採択・伴走支援

R6：応募24プロジェクト⇒3プロジェクトを採択・伴走支援



R7公開プレゼンテーションの様子

- 地域課題解決や地域活性化を目的とした

「コミュニティビジネス研修」を実施

R7：25名申込 R6：33名申込



R7コミュニティビジネス研修の様子

ステークホルダー（想定）

- 過去のまちづくりコンテスト
やコミュニティビジネス研修
の参加者
- まちづくり協議会や自治振興会
- 地域おこし協力隊
- 若手起業家
- 地元企業のCSR部門
- 地域課題解決に取り組む
大学研究室

など

多様なステークホルダーを巻き込みながら、
エコシステムのエンジンに！

波及効果と目指す未来

プレイヤー同士の共助で「まちづくり」を加速化

まちづくり活動の総量が増加↑、質も向上↑

プレイヤーが周りの人々を自然に巻き込むことで、
「まちづくり」がより身近に！



5年後

地域行事・イベント等、地域の活性化につながる活動に積極的に
関わりたいと思う人の割合を50%に！

事業者の皆様に期待すること

社会実装を見据えた提案

地域の参加意欲を行動へ



1. 可視化



2. マッチング



3. 小さな参加



4. 知見共有



ご清聴、ありがとうございました！

**皆様からの
魅力的なご提案をお待ちしております！**



デジタル技術の活用による 多文化共生社会の推進

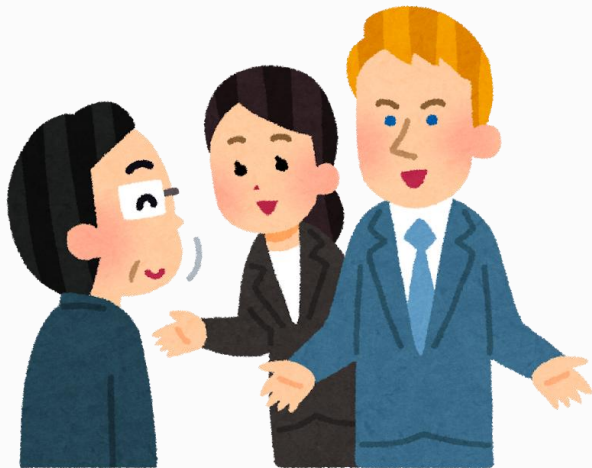
富山県警察 運転免許センター

現 状

外国人来庁者数

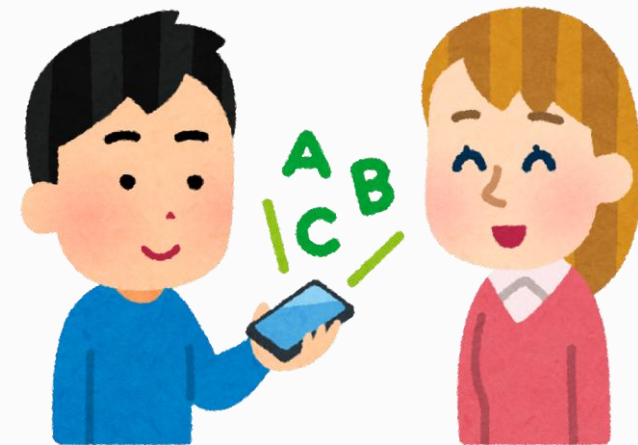
- ・ 1日20人程度
- ・ 大半が英語圏以外の国

ベトナム、中国、パキスタン、
ミャンマー、など **36カ国**



会話方法

- ・ 通訳人
- ・ 既製品（ポケットーク等）
- ・ 来庁者のスマートフォン
- ・ ジェスチャー



「言語の壁」による課題

「特定技能1号」 「技能実習生」

日本語能力がN4レベル（日本語能力試験）

N4「ゆっくりとした会話や、簡単な文章なら理解できる」

- × 「次の交差点を左に曲がります」
- 「ソコ ヒダリ マガル」



受験者の不利益

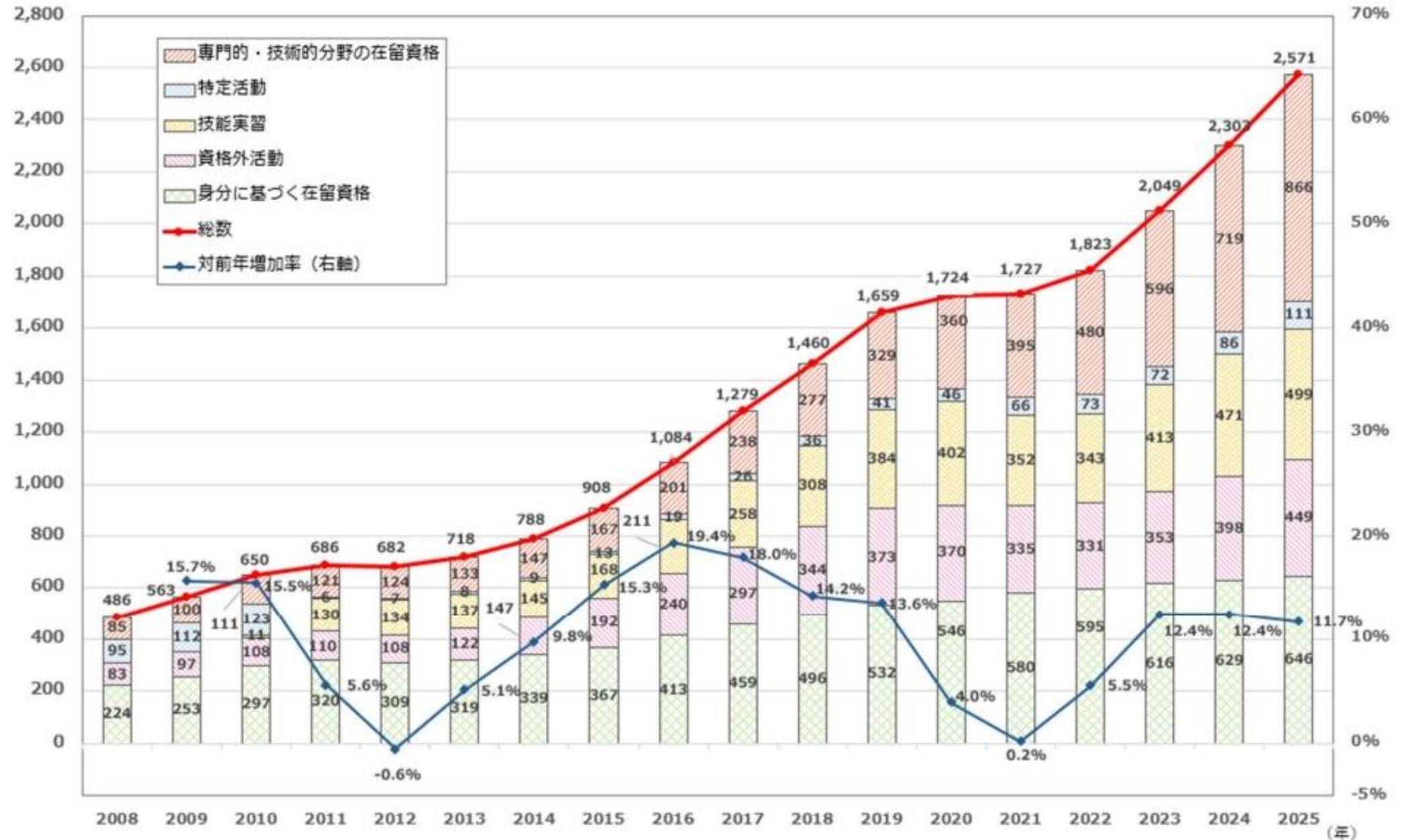
- ・ 通訳人の手配
- ・ 説明が理解できない

対応する職員の負担

- ・ 時間や労力の浪費
- ・ 意思疎通ができないストレス

(単位：千人)

図 1 - 1 在留資格別外国人労働者数の推移



外国人労働者の増加（全国）

外国人労働者数	
全体	257万人
特定技能	28万人
技能実習	49万人



前年比の増加数	
全体	27万人 (11.7%)
特定技能	8万人 (38.3%)
技能実習	3万人 (6.1%)

在留資格	特定技能1号
日本語能力	N4
受け入れ上限	80万人

技能実習	育成就労
N4	N5
なし	42万人

自動車運送業の追加
・ 特定技能1号
・ 2.4万人の受入上限



外国人労働者の増加（富山県）

外国人労働者数

全体	16,460人
特定技能	2,085人
技能実習	6,888人

前年比の増加数

全体	1,530人 (10.2%)
特定技能	184人 (2.0%)
技能実習	667人 (47.0%)



外国免許切替

書類の審査



知識の確認



技能の確認

書類の審査

業務内容

- 提出資料の確認
- 外国免許証について聞き取り

問題点

- メモや書類確認の作業性悪化





知識の確認

業務内容

- ・ 全50問の知識確認（マーク式）
- ・ 記載方法の注意点を説明
- ・ 訂正指示、質問対応



問題点

- ・ 言語に応じて個々に説明
- ・ 確認（試験）時間の長大化



技能の確認

業務内容

- 実車試験
- 試験の注意点を説明
- ワンポイントアドバイス

問題点

- 車内では既存翻訳機の使用困難
- 試験官の指示が伝わらない





募集するプロジェクト

現場に特化した多言語対応

- ・ ハンズフリー（例）
- ・ 現場に適した操作性



提供できる環境

- ・ 運転免許センター
- ・ 多種多様な外国人の協力



クラウドサービスを利用する場合

実証実験 「ISMAP」不要

本番環境 「ISMAP」の利用または登録

富山県が目指すビジョン

- ・ 労働力不足の解消
- ・ モデルケースとしての富山県
- ・ 秩序ある多文化共生

公平・公正な行政サービス

行政窓口・防災・救急・消防



積極的な警察活動

免許業務・落とし物・警察業務





一緒に

実証実験しましょう!!

平時の見守りから災害時の 避難支援までつながる情報共有



TAKAOKA
ライバルはご先祖様。文化創造都市高岡

高岡市
福祉保健部 社会福祉課
渡邊 裕貴



令和3年 災害対策基本法改正

避難行動要支援者の

個別避難計画について、

市町村に作成を努力義務化

災害対策基本法等の一部を改正する法律の概要

内閣府(防災担当)

趣旨

頻発する自然災害に対応して、災害時における円滑かつ迅速な避難の確保及び災害対策の実施体制の強化を図るため、以下の措置を講ずることとする。

改正内容

1. 災害対策基本法の一部改正

① 災害時における円滑かつ迅速な避難の確保

1) 避難勧告・避難指示の一本化等

<課題>

本来避難すべき避難勧告のタイミングで避難せず、逃げ遅れにより被災する者が多数発生。避難勧告と指示の違いも十分に理解されていない。

※住民アンケート
・避難勧告で避難する意向した者：26.4%
・避難指示で避難する意向した者：40.0%

<対応>

避難勧告・指示を一本化し、従来の勧告の段階から避難指示を行うこととし、避難情報のあり方を包括的に見直し。



避難情報の報道イメージ (内閣府で撮影)

2) 個別避難計画(※)の作成

※ 避難行動要支援者(高齢者、障害者等)ごとに、避難支援を行う者や避難先等の情報を記載した計画。

<課題> 避難行動要支援者名簿(平成25年に作成義務化)は、約99%の市町村において作成されるなど、普及が進んだものの、いまだ災害により、多くの高齢者が被害を受けており、避難の実効性の確保に課題。
※近年の災害における犠牲者のうち高齢者(65歳以上)が占める割合
令和元年東日本台風：約65% 令和2年7月豪雨：約79%

<対応>

避難行動要支援者の円滑かつ迅速な避難を図る観点から、個別避難計画について、市町村に作成を努力義務化。
※任意の取組として計画の作成が完了している市町村 約10%
※任意の取組として一部計画の作成が完了している市町村 約57%



避難行動要支援者が災害時に避難する際のイメージ

3) 災害発生のおそれ段階での国の災害対策本部の設置／広域避難に係る居住者等の受入れに関する規定の措置等

災害発生のおそれ段階において、国の災害対策本部の設置を可能とするともに、市町村長が居住者等を安全な他の市町村に避難(広域避難)させるに当たって、必要となる市町村間の協議を可能とするための規定等を措置。



大規模河川氾濫時の他市町村への避難イメージ

② 災害対策の実施体制の強化

1) 非常災害対策本部の本部長を内閣総理大臣に変更

2) 防災担当大臣を本部長とする特定災害対策本部の設置(※)

※非常災害に至らない、死者・行方不明者数十人規模の災害について設置

3) 内閣危機管理監の中央防災会議の委員への追加



令和2年7月豪雨時の非常災害対策本部

2. 内閣府設置法の一部改正

内閣府における防災担当大臣の必置化

3. 災害救助法の一部改正

非常災害等が発生するおそれがある段階における災害救助法の適用

国の災害対策本部が設置されたときは、これまで適用できなかった災害が発生する前段階においても、災害救助法の適用を可能とし、都道府県等が避難所の供与を実施。

目標・効果

○広域避難に関する取組の推進

広域避難を検討している市町村における広域避難のための協定の締結割合 2020年度：80% ⇒ 2025年度：100%

公布日：令和3年5月10日

施行期日：令和3年5月20日

◇対象者

- ・自宅に住んでいる
- ・災害時に自力避難が困難

要介護3以上の認定	(要介護認定者)
身体障害者手帳1・2級	(身体障がい者)
療育手帳A	(知的障がい者)
精神障害者保健福祉手帳1級	(精神障がい者)
一人暮らし高齢者	
介助が必要な難病	



避難行動要支援者名簿に登録

市町村が作成しておかなければならない(義務規定)※災害対策基本法第49条の10

◇記載内容

氏名／生年月日／性別／住所又は居所／
電話番号その他の連絡先／避難支援等を必要とする事由／
避難支援等の実施に関し市町村長が必要と認める事項

避難支援関係者等※への名簿情報の提供

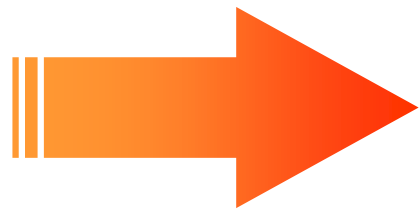
※消防、警察、民生委員、社会福祉協議会、自主防災組織など

○適切な避難支援等が実施されるよう、避難行動要支援者に係る名簿情報を
避難支援等関係者などに提供

○平時は、条例に特別の定めがある場合又は避難行動要支援者本人の同意がある場合に
提供し、災害時は本人の同意を要しない

災害時に「いつ」「誰と」「どこへ」「どうやって」避難するか

避難行動要支援者名簿 + 「支援者」「避難先」



個別避難計画

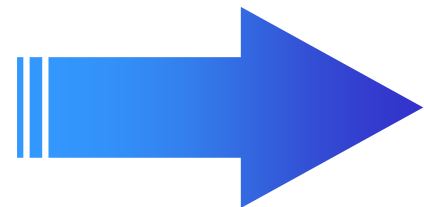
※対象者の状況に応じて必要な項目を追加可能

- 本人や家族、支援者等と確認しながら作成することで、
 - 災害時に慌てず避難行動が可能
 - 避難先の担当者や支援者が情報を把握しやくすくなる

個別避難計画の作成状況

避難行動要支援者数	個別避難計画作成済	作成率
11,249人	2,275人	20.2%

※ R7.4.1 時点



作成が進んでいない

※作成率は富山県平均で約2割、
全国でも約半数の自治体が2割以下

- ・限られた職員のみ使用可能なシステム
- ・避難支援関係者とは紙ベースによる運用
(名簿・・・作成・配布 (年1回))

○情報更新の遅延

○作業時間・人員の増大

○情報活用が困難



個別避難計画(避難行動要支援者名簿)を

セキュリティを確保しつつ

- 支援者が対象者の情報を
スマホやパソコンで閲覧できる
- 支援者の種別
(行政職員・家族・民生委員・自治会・福祉専門職等)および
支援対象者ごとに、
閲覧・編集・承認等できる項目を制限できる
- 災害時のみならず平時の見守り等の活用ができる
- 職員側での新規入力や更新が負担なく行える



個別避難計画を「作って終わり」にせず、
平時の見守りから災害時の避難支援までつながる
実効性ある運用に転換するための
実証実験プロジェクト

例：個別避難計画（避難行動要支援者名簿）の
作成・更新・管理を効率化、
多主体で安全に情報共有できる仕組み、
平時の見守りと災害時の避難支援の双方で
活用可能なプロジェクト



魅力的なソリューションのご応募を お待ちしております！



多様な人材の活躍推進 (県内企業における障害者の活躍推進)

多様な人材活躍推進室・人材確保推進課
岡崎 諒太

富山県における人材不足の現状・対策等（1）

- 県内では、**エッセンシャルワーク分野**をはじめ、**人材不足が深刻化**
- 県独自のシミュレーションでは、2040年で**約10万人の不足**

- 2040年で、 ● **需要が531,700人**、 ● **供給が428,109人**
- **全体で103,591人の不足**



富山県における人材不足の現状・対策等（2）

➤ 令和7年4月 県人材確保・活躍推進本部を立ち上げ

➤ 令和8年2月 総合的施策「富山県人材確保・活躍パッケージ」を公表
(総事業数:277本、予算規模:約167億円)

富山県人材確保・活躍パッケージ、始動

—「人が減る」時代を、「人が輝く」転機に。みんなでつくる「選ばれる富山」—



富山県における人材不足の現状・対策等（3）

発想の転換：組織中心から、人中心へ。

「人を奪い合う」のではなく、「選ばれる富山」へ。

組織中心



「人手が足りないから来てほしい」

人は動かない

人中心



人を惹きつけ、地域が活性化する

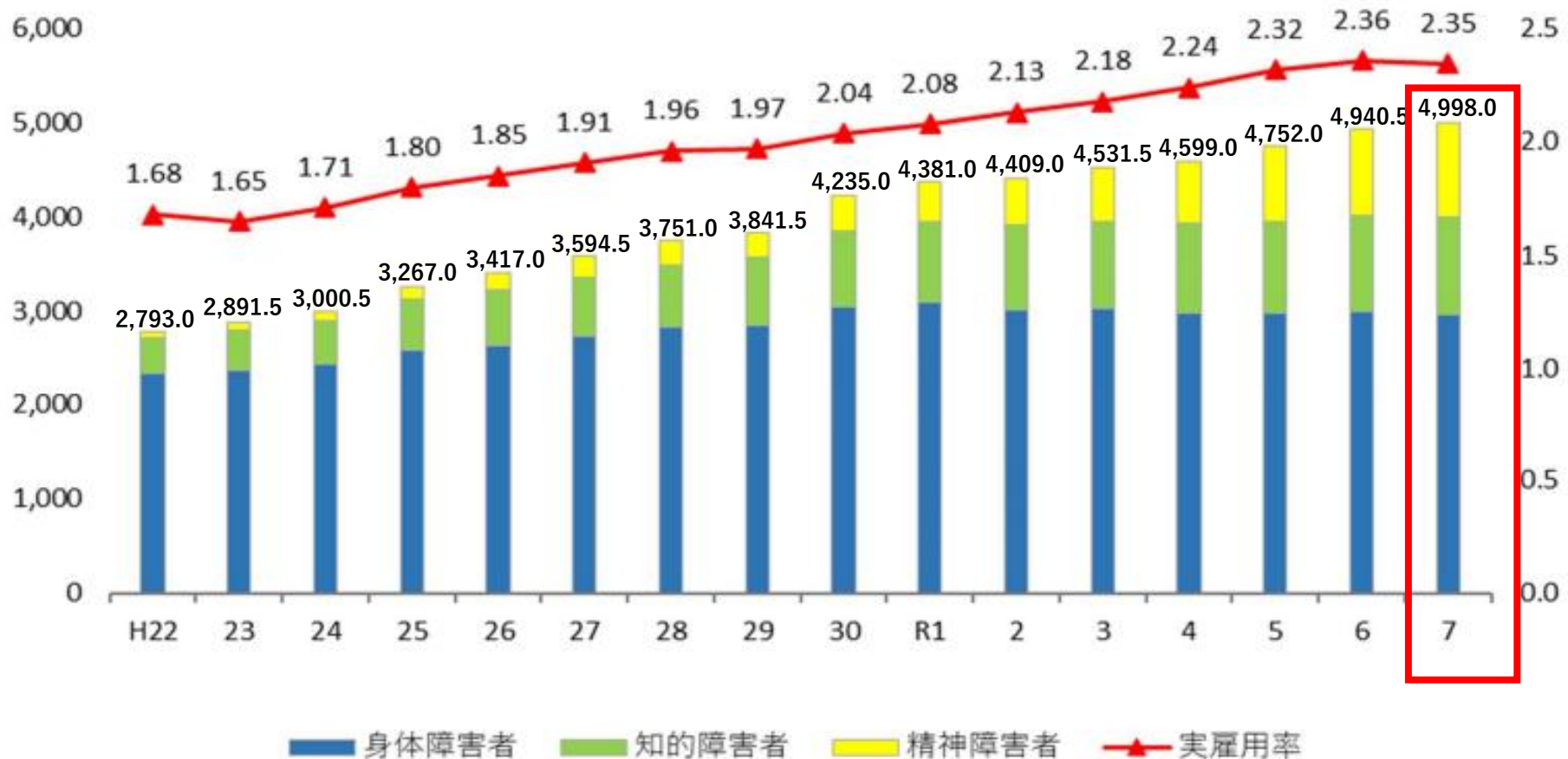
⇒ 障害者など、多様な人材が働きがいをもって、活躍いただける環境作りが必要

富山県内における障害者雇用等の現状（1）

富山県内の雇用障害者数は

約5,000人

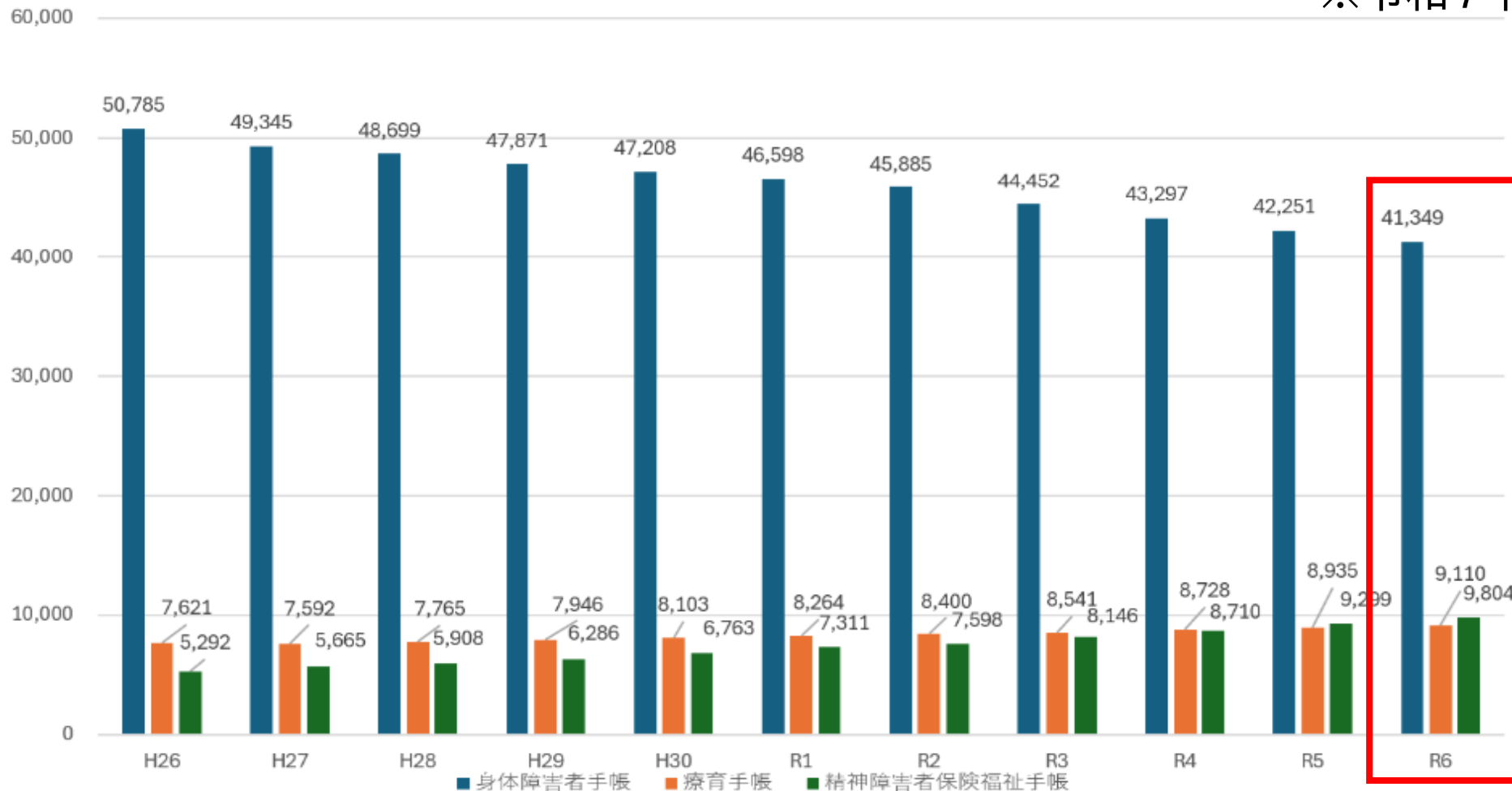
※令和7年6月1日時点



富山県内における障害者雇用等の現状（2）

一方、障害者手帳を持っている方は、**約60,000人**

※令和7年3月31日時点



富山県内における障害者雇用等の現状（3）

まだまだ、多くの障害者の方が
県内企業で活躍いただける
可能性があるのでは？

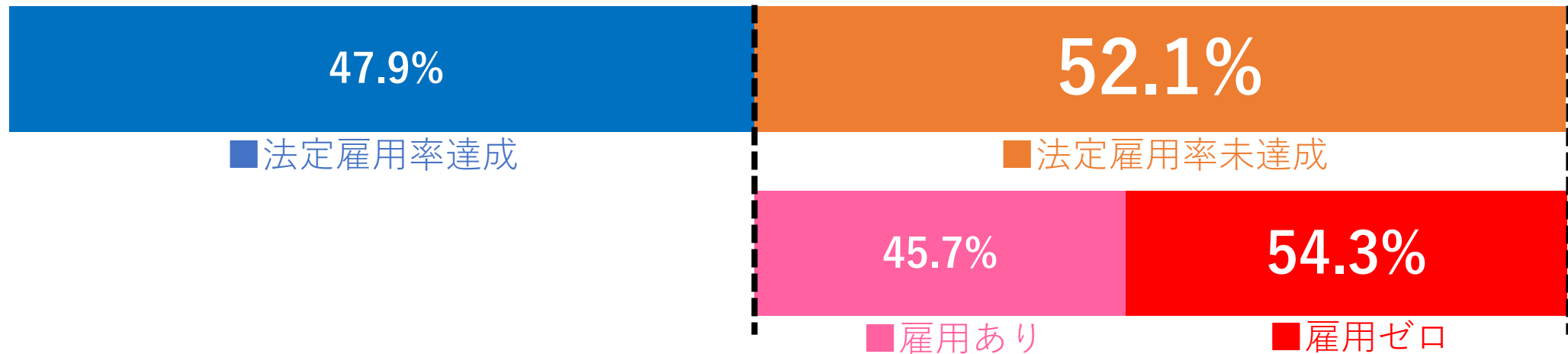
富山県内における障害者雇用等の現状（４）

県内企業に目を向けると、、、

障害者の雇用状況報告対象企業1,192社のうち、

➤ 法定雇用率**未**達成企業は**52.1%**〔621社〕

⇒うち、**337社(54.3%)**が **障害者雇用ゼロ企業**



※令和7年6月1日時点

これまでの富山県の取組み

- 障害者雇用セミナーの開催（対象：企業の経営者、人事・労務担当者等）
- 障害のある学生等の就職、定着支援
- 障害者やその家族、企業との交流会開催 etc...

障害者雇用セミナー



障害者、家族等と企業との交流会



課題①

経営者層への働きかけ、理解促進

- 障害者雇用ゼロ企業が54.3%であり、障害者雇用に対する経営者層等へのさらなる理解促進が必要
- 県で実施する、障害者雇用セミナーの参加者が固定化しており、採用方針の決定に関わる経営者層等への働きかけが十分とはいえない状況

課題②

障害者の職業準備性

- 障害のある求職者の中には、生活習慣、コミュニケーション、勤怠の安定、報告・連絡・相談などの職業準備性の向上を要する方も多く、ハローワークから企業に紹介可能な人材が限られている

課題③

法定雇用率の引上げ等に伴う

未達成企業の増加懸念

- 令和8年7月には、法定雇用率の引上げ、障害者雇用状況報告の対象となる企業の範囲の拡大が予定されている

	令和5年度	令和6年4月	令和8年7月
民間企業の法定雇用率	2.3% ⇒	2.5% ⇒	<u>2.7%</u>
対象事業主の範囲	43.5人以上	40.0人以上	<u>37.5人以上</u>

デジポックで募集したいこと

障害者の働く機会の増加につながる実証実験プロジェクト

- 障害者 の社会人スキル及びデジタルスキル等の向上を図る
- 県内企業 における採用から定着までを一体的に支援

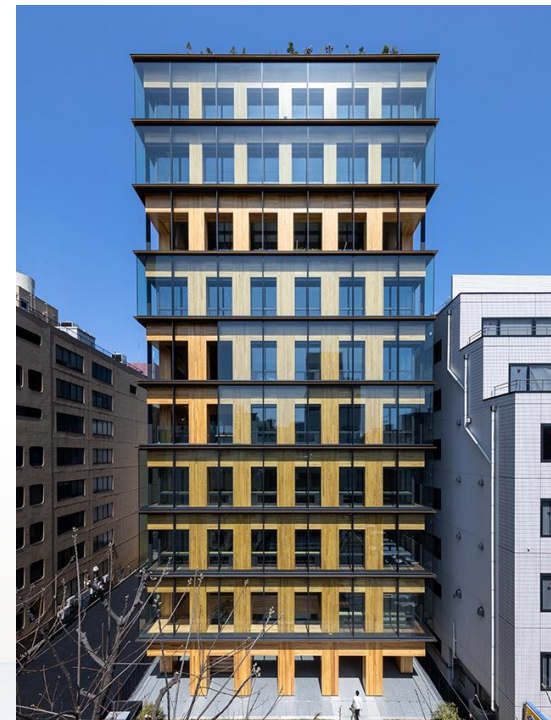
障害者の方が県内企業で自分らしく輝くことができる
ようになるためのプロジェクトを募集しています！！

県産材活用促進に向けた 多主体連携型の 需給調整業務の効率化

富山県 森林政策課 木材利用推進係

R3.10.1 ^{まち}都市の木造化推進法の施行

- 令和3年度、「木材利用促進法」が「都市の木造化推進法」に改正
(対象が、公共建築物から、建築物一般に拡大)
- 都市部に高層木造ビルが建設
- 脱炭素社会、カーボンニュートラルの実現
のためにも、木材を都市で利用し、建物の形での炭素固定をする必要



神奈川県 大林組 11階建て



東京都江東区 タワマン 12階建て

富山県でも、木造の大型物件が増加

- **魚津市立星の杜小学校**

建築基準法のH27改正後に可能となった
木造3階建て小学校の全国初の事例

- **YKKパッシブタウン第5街区**

北陸初の木造中高層集合住宅

- 使用したほとんどの木材がとやま県産材



とやま県産材 需給情報センター

- とやま県産材の需給情報をワンストップで提供
- 以下の4団体が協力し、大型物件への木材調達をスムーズに行っている
 - 富山県森林組合連合会
 - 富山県素材生産組合
 - 富山県木材組合連合会
 - 富山県建築設計監理協同組合

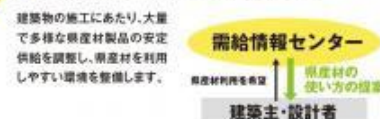
とやま県産材 需給情報センター

とやま県産材の需給情報をワンストップで提供

これまで県産材は「流通量が少ない」「在庫が不明確」「使い方が分からない」などの声があり、短期間での安定供給に課題がありました。そこで当センターは、川上(生産者)→川中(市場・工場)→川下(工務店・施工主)の情報を一元化、川下からの要望を受け、川上・川中と情報を共有し、県産材を使いたい人の声に応える体制を整備しました。

需給情報センターの主な業務

01 建築物等での県産材の調達支援



02 製材所と工務店とのマッチング

施工者からの県産材製品の入手先等の問合せに応じてともに、県産材を製材・加工する県内製材所等をマッチングします。



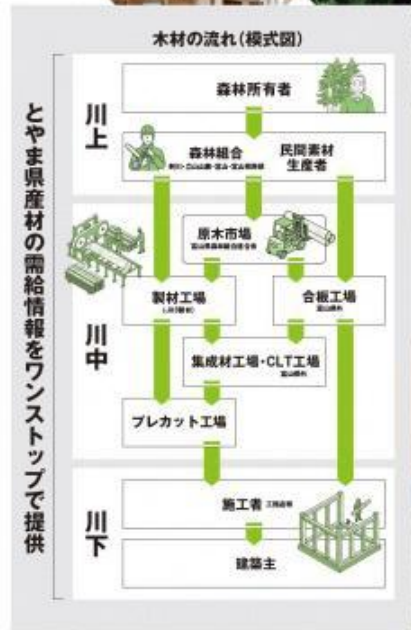
03 大口需要先への素材の安定供給

大口需要先と森林組合、民間素材生産者の需給情報をマッチングし、原木の安定供給体制を構築します。



04 建築物木材利用促進協定を支援

民間建築の木造・木質化に向けた国や自治体との協定締結をバックアップ。木材利用を促進する協定の締結に必要な「木材調達ルート」の紹介や「技術的なノウハウ」の提供など、実務に直接する情報支援を行います。



需給情報センターの組織

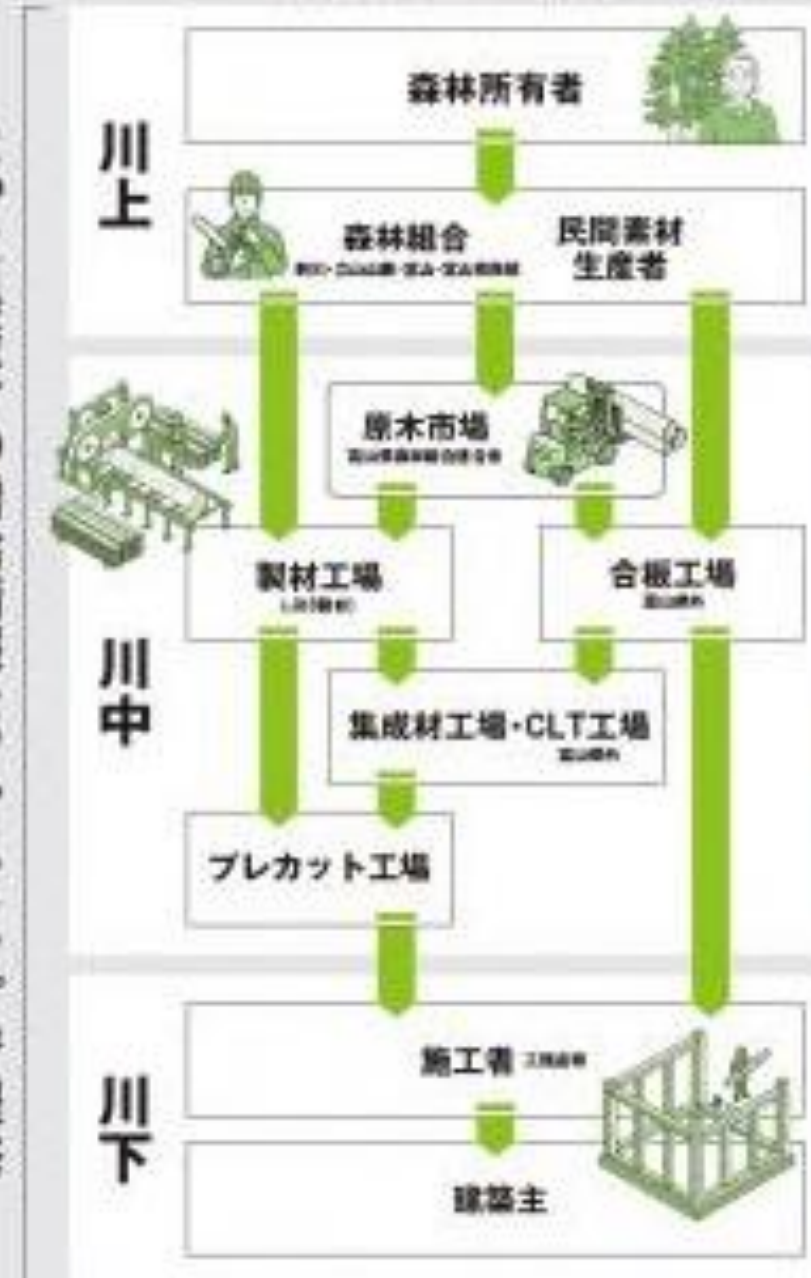
- 構成団体
- ◆富山県森林組合連合会(事務局)
 - ◆富山県木材組合連合会
 - ◆富山県素材生産組合
 - ◆富山県建築設計監理協同組合

県産材調達における課題

- 木材が建築現場で使われるまでに複数事業者が関わる
 - 森林からの木の**伐採～搬出**
 - 丸太を柱などの木材に**製材**
 - 歪み等を防ぐために**乾燥**
 - 現場ですぐ組み立てられるよう**加工**
 - 使用するタイミングに合わせた**納品**
- これらの工程を複数社で分担して行っており、それぞれの間で売買が行われている
- 富山県の素材（原木）生産量は、全国**40**位（雪国という気象条件、急峻な地形）

木材の流れ(模式図)

とやま県産材の需給情報をワンストップで提供



木材コーディネーターの活躍と課題

現状

少数のキーマンが川上から川下までの複数事業者の進捗を取りまとめ、情報共有をし納材調整等を行い、木材を調達。

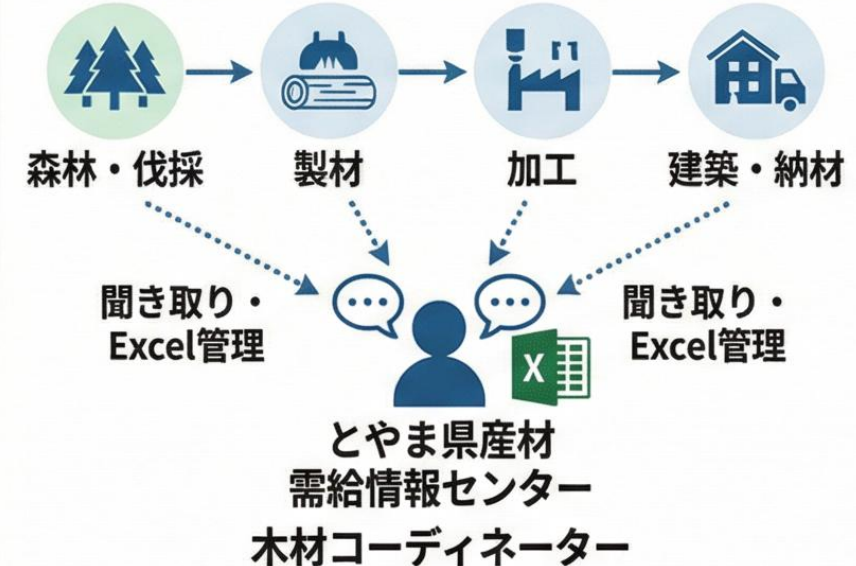
課題

- 業務が属人化しており、担当者への負荷が大きい
- 建築スケジュールの変更や、設計変更による追加部材の発生等の際、迅速かつ全体最適な対応が困難
- これらの調整業務は県産材の価格には反映できていない。

木材コーディネーターの負担を
減らすソリューションを求めている

現状と課題

現状：多段階連携と属人調整



課題：4つのボトルネック



①属人化・負荷大



②変更対応困難



③可視化不足



④持続可能性欠如
(費用反映不備)

大型木造建築物の調達工程とスケジュール調整

例 YKKパッシブタウン

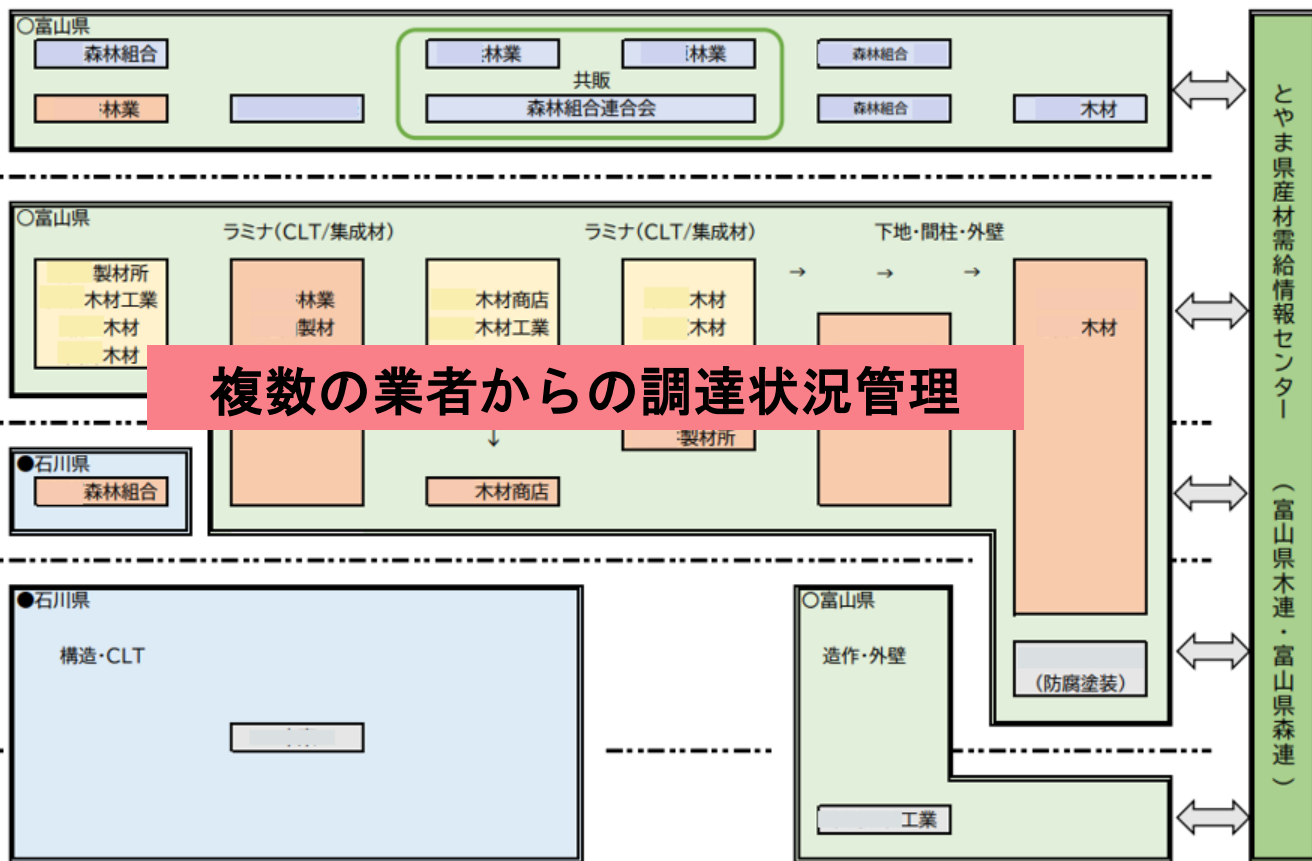
伐採

製材

乾燥

加工

施工



項目	日程	2024年(令和6年)												備考						
		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		7	8	9	10	11	12
設計・工程等		7 実施設計																		寸法 合計本数 合計製品材積
TOWER-A TOWER-B TOWER-C																				
上部:本数 下部:材積																				
①相対凹凸外壁板+柱型																				3000 × 115 × 35 7,744本 93.70m ³
3000 × 96 × 30																				
115 × 35																				
2376 2453 2915																				タナリスCY+プラストーン 750枚/月
28.75 29.68 35.27																				
②本実外壁板																				3000 × 125 × 23 2,152本 18.51m ³
3000 × 105 × 18																				
125 × 23																				
730 630																				ラジル)
6.28 5.4																				
242																				
2.08 ※集会7																				
③本実(天井・軒)																				× 23 3,960本 45.54m ³
4000 × 105 × 18																				
125 × 23																				
584 584 704																				
6.72 6.72 8.10																				
2088																				表面等級:上小節?
24.01 ※回廊																				
④本実(内部)板 梁・天井																				4000 × 125 × 23 1,992本 22.91m ³
4000 × 105 × 18																				
125 × 23																				
752 664 576																				
8.65 7.64 6.62																				表面等級:上小節?
⑤本実(内部)板 梁・天井																				4000 × 125 × 20 3,688本 36.88m ³
4000 × 105 × 15																				
125 × 20																				
1336 1272 1080																				
13.36 12.72 10.80																				表面等級:上小節?

納材のタイミングに合わせた工程・スケジュール調整

募集したい実証実験プロジェクト

- 大型建築物における県産材納材の一連の工程において、以下の仕組みを構築
 - 納材調整の透明性向上
 - 調整業務を担う関係者の負担軽減
 - 具体的には
 - 進捗状況、役割分担、変更情報
- 等を関係事業者間で共有・可視化を図る実証・実験プロジェクト。

公平性・透明性・即時性をもつ
プラットフォームの提案

募集：共有・可視化の仕組み構築



期待効果



担当者が考えている具体例

- 誰（事業者：複数社）が何（例：スギ材で105mm×105mm×3,000mm、含水率はSD20、機械等級区分E90の柱を100本：ある程度の規格はあるが特注品も多い）を何日までに、どこ（事業者：1物件では数社）へ納める。というような情報を、事務局で必要数量を初期設定すれば、各社が入力可能で、工程ごとの数量把握、進捗率等が見える化されるようなもの？
- 現状のエクセルでの納材スケジュールや数量管理をオンラインでの共有等 維持管理費用が極力かからないシステムを想定

想定ソリューション類型



クラウド型進捗共有PF



コーディネーター支援ワークフロー



既存ツール活用軽量モデル (LINE WORKS等)



トレーサビリティ統合型



調整工数可視化・費用化モデル



ハブ組織運営モデル提案

重要評価軸（持続可能性の鍵）



多主体連携可否



属人負荷軽減度



変更時有効性



センター核の運営



費用・持続可能性

(短中長期視点)

現在稼働中の県内の大型建築案件

- 富山県武道館
- PLAY EARTH PARK NATURING FOREST などなど
(複合型アウトドア施設)

これらの大型木造建築の木材調達工程にあたって、木材コーディネーターの業務の一部でも負担軽減できる到達点を目指しています



富山県産魚の品質可視化
およびサプライチェーンの情報連携
を通じた付加価値向上

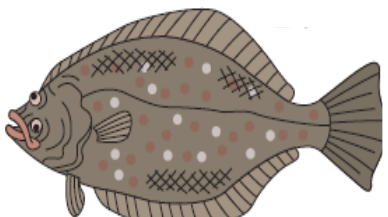
富山県 農林水産部 水産漁港課



富山県の水産業について ～漁場～

沿岸表層水

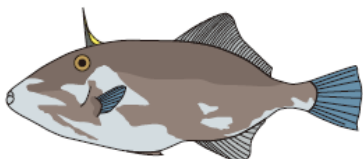
(河川由来の栄養豊富な水)



ヒラメ



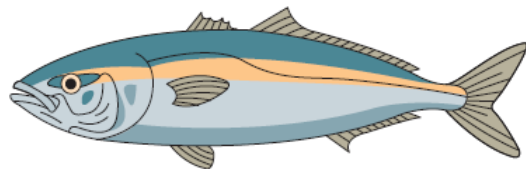
キジハタ



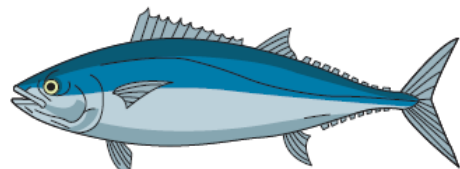
ウマヅラハギ

対馬暖流水

(暖かい水)



ブリ

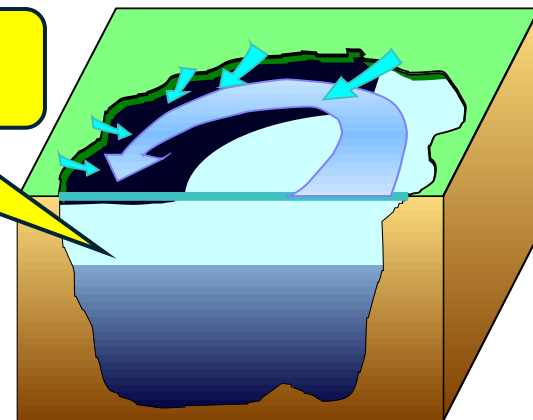


クロマグロ



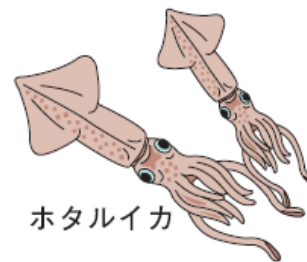
スルメイカ

富山湾は3層構造



海洋深層水

(冷たい水)



ホタルイカ



シロエビ
(シラエビ)



ベニズワイ

- ・ 栄養豊富な水
- ・ 暖かい水
- ・ 冷たい水

▶ 富山湾は多様な水産資源を利用できる

富山県の水産業について ～漁業～

定置網（赤枠）漁場図



富山県の主要漁業
(定置網等)



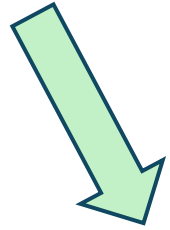
市街地と漁場が近い
(消費地)



新鮮な魚介類の提供

漁業者の取り組み ～課題～

魚種は豊富・地理的条件も良好



ポテンシャルをもっと活かして漁業収益を増加させたい

魚の品質を上げる取組み（付加価値向上）

- ・ 温度管理（氷の活用など）
- ・ 鮮度維持処理（脱血、神経締めなど）



期待した価格形成には至らず



< 課 題 >

付加価値の向上に伴う適正な価格形成に向けた仕組み

県ではブランド化の取組みも



漁業者の取り組み ～仮説～

静岡県の事例

取組の成果等

<出荷手順>



船上活〆・脱血処理



市場で脂肪量測定



タグ付け



<認定基準>

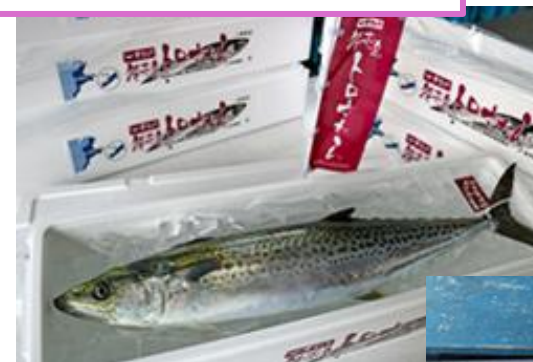
曳縄釣りで漁獲
時期:11月～2月末
船上活〆・脱血処理
魚体重2.5～4kg未満
脂肪量10%以上
無傷

浜値 平均単価(円/kg)	H29通常サワラ	H30通常サワラ	H30波乗り鮭
	1,493	1,373	2,688

魚価2倍!

【出典】水産庁HP

三重県の事例



【出典】水産庁HP



客観的な指標でおいしさを保証
平均単価（浜値）41.4%増

仮説：数値等の客観的なデータの提供（情報の信頼性UP）

⇒付加価値と価格の向上

※県内では伝聞や経験による情報共有が現状

提案：デジタル技術を活用した客観的データの提供

<ソリューションの例>

実証場所：船上～産地卸売市場

- ・流通のスタート地点
- ・最初に魚に値が付く場所

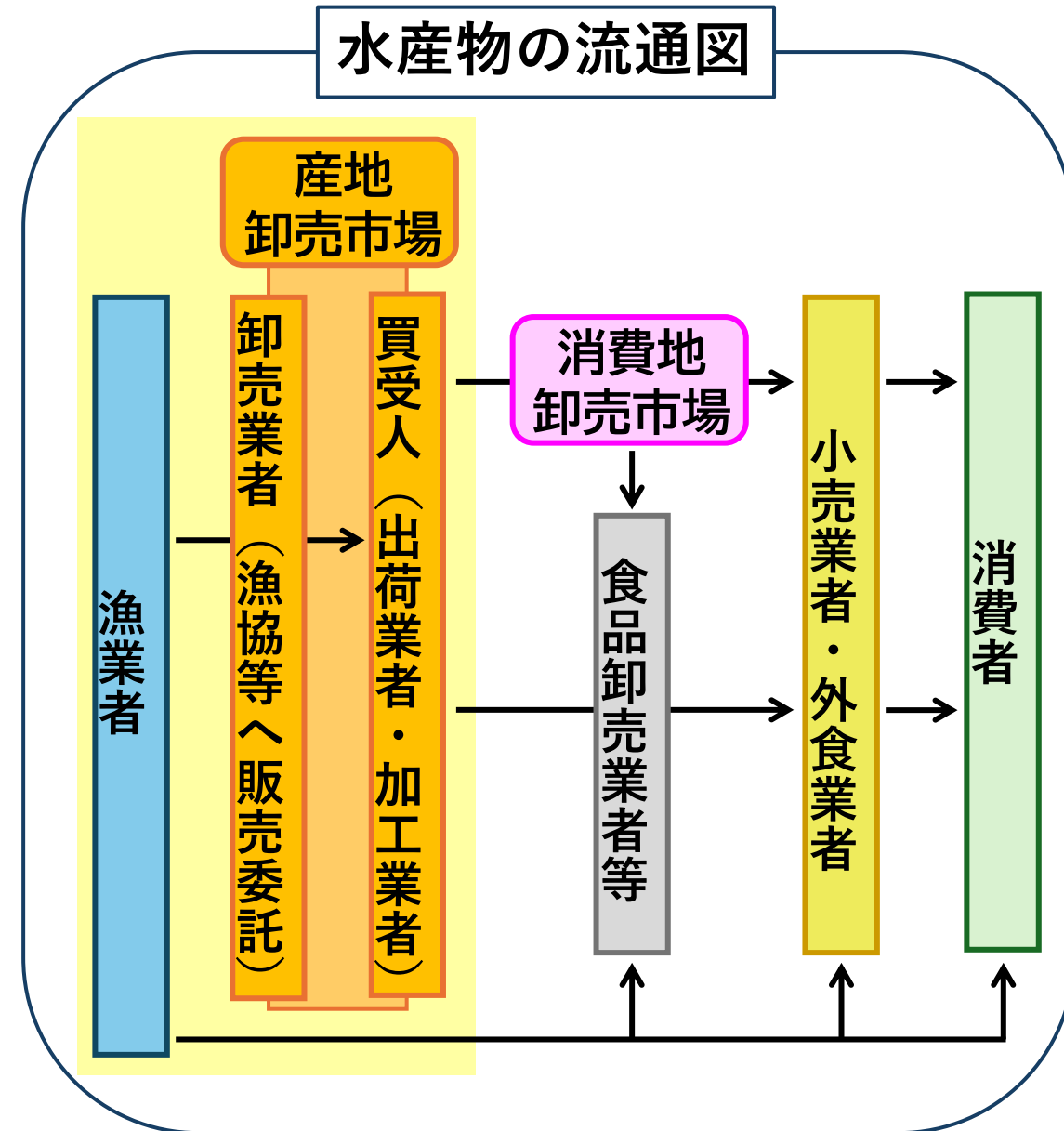
実証内容：

漁協
漁業者

セリ前に情報提供

買受人

- ・魚の成分値（脂肪量など）
- ・水揚時刻
- ・鮮度処理方法と時刻
- ・運搬温度 など



提案：操業と産地卸売市場の様子

定置網操業（AM3:00～4:00頃）



産地市場（AM5:00～6:00頃）



サワラ



ヒラマサ・ブリ



カツオ



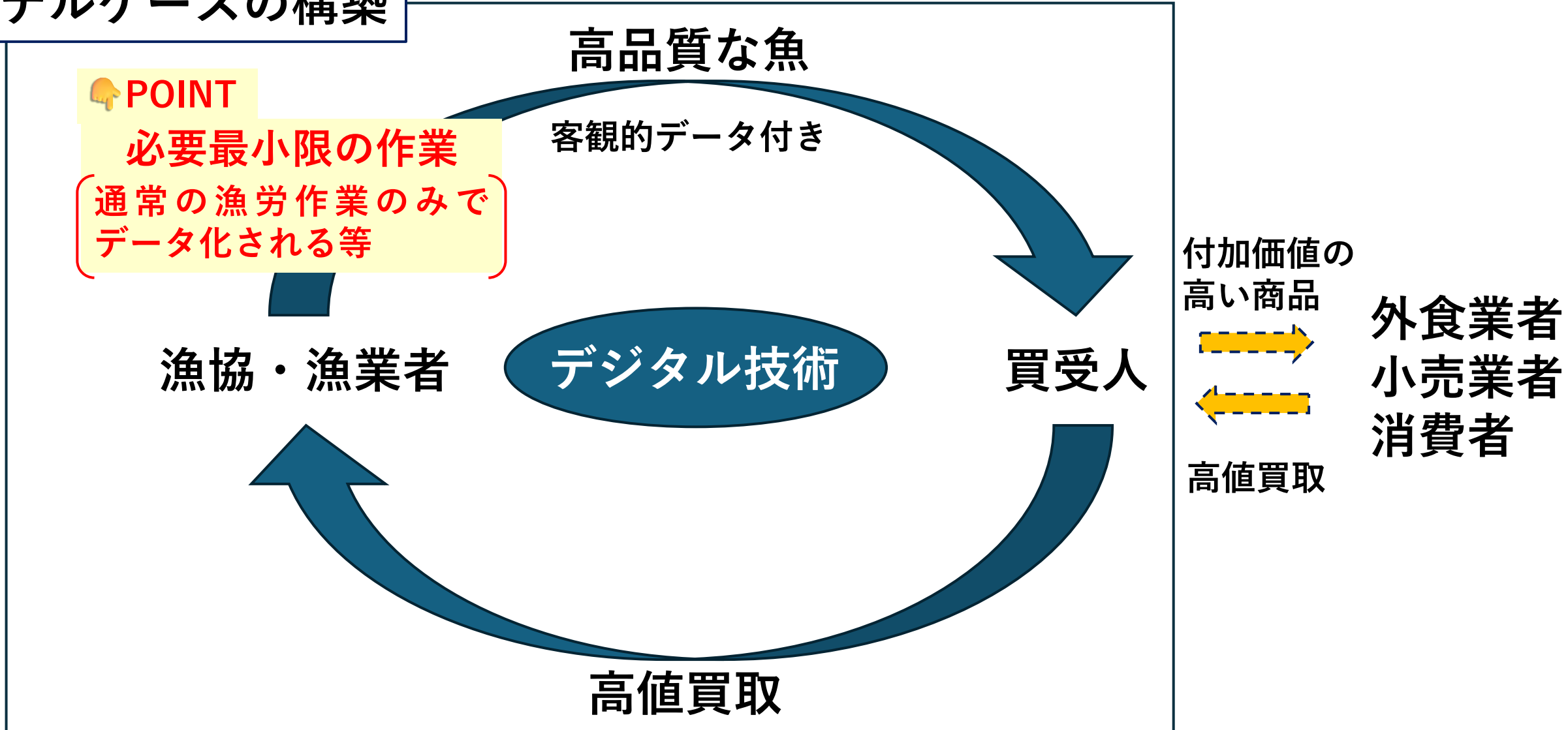
マアジ



ヒラメ

目指す姿

モデルケースの構築



皆さまからのアイデアよろしく願っています



アジェンダ

本日のアジェンダ
開式のご挨拶
Digi-PoC TOYAMA概要説明
各担当者によるテーマピッチ
Q&A
閉会挨拶
県・市職員とのミートアップ



アジェンダ

本日のアジェンダ
開式のご挨拶
Digi-PoC TOYAMA概要説明
各担当者によるテーマピッチ
Q&A
閉会挨拶
県・市職員とのミートアップ



アジェンダ

本日のアジェンダ
開式のご挨拶
Digi-PoC TOYAMA概要説明
各担当者によるテーマピッチ
Q&A
閉会挨拶
県・市職員とのミートアップ

県・市職員との交流会

6つのテーマそれぞれごとにブースを設置しております。
是非、ご興味のあるブースへお立ち寄り頂きコミュニケーションを実施頂ければと存じます。

1 【地方創生局ワンチームとやま推進室】 デジタル技術を活用した地域資源（スキル・ニーズ）の可視化と、多様な主体による共助型まちづくりエコシステムの構築

2 【富山県警察免許センター】 デジタル技術の活用による多文化共生社会の推進

3 【高岡市福祉保健部】 平時の見守りから災害時の避難支援までつながる情報共有・更新・活用

4 【商工労働部多様な人材活躍推進室】 多様な人材の活躍推進（県内企業における障害者の活躍推進）

5 【農林水産部森林政策課】 県産材利用促進に向けた多主体連携型の需給調整業務の効率化

6 【農林水産部水産漁港課】 富山県産魚の品質可視化およびサプライチェーンの情報連携を通じた付加価値向上

サイドもしくは広報の机に各テーマを提示しております

[デジポックとやま]

Digi-PoC **TOYAMA**

ウェルビーイングな世界を切り拓く